



2014～2015年度
中津平成週報
Rotary Club Of Nakatsu Heisei



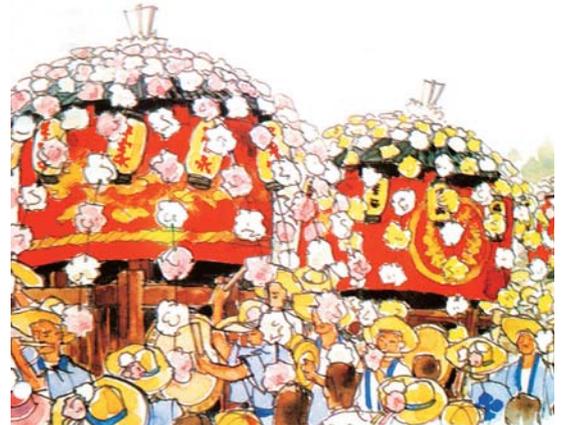
2014～2015年度
国際ロータリー・テーマ
**ロータリーに輝きを
Light Up Rotary**

国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホアン

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 梶原 清二 幹事 川崎 潤 会報担当 中島 宏一郎 クラブ広報委員長 中島 宏一郎

例会日/毎週木曜日 12:30
例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111
事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F
TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722
e-mail office@n-heisei.org
<http://www.n-heisei.org/>



第1179回例会 平成26年9月11日(木)

●本日の例会プログラム 夜間例会 親睦委員会
グランプラザ中津ホテル

◎次回例会プログラム 「中東情勢」 浦橋英男氏
グランプラザ中津ホテル

前回(1178回例会)の記録
平成26年9月4日(木)

■ゲスト

豊前國中津黒田武士顕彰会
事務局長 松本達雄氏

■ビジター

■出席報告

会員数 24名
免除者数 1名
対象者数 23名
本日出席者 19名
欠席者数 4名
出席率 **82.61%**

■1177回出席報告の修正

1177回欠席者 8名
メイクアップ 4名
欠席者 4名
修正出席率 65.22% → **82.61%**

●メイクアップ

二反田会員(中津8/27)
吉野会員(中津中央8/26)
羽倉会員(大分東8/21)
矢頭会員(中津中央8/12)

●欠席者

小野会員・長野(修)会員・仲本会員・松本会員

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 梶原会長

2014～2015年度ロータリー財団委員長

ジョン・ケニー氏



今年度の目標

1. 地球上からポリオを撲滅すること。
2. 寄付を通じてロータリー独自の慈善事業を支援すること。
3. 持続可能な成果をもたらす教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確実なものにすることです。
4. 平和と紛争解決のための人材を育成するロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、

親善と平和を育むことです。

5. 「ロータリーに輝きを」もたらず活動を世界中で実施できるよう、財団の未来の責任が私達の手にかかっていることを強調することです。

以上の5項目を掲げています。

参考までに述べますと、ポリオの撲滅について2011年度の調査では、世界で3カ国で発生していて、パキスタンで198例、ナイジェリアで66例、アフガニスタンで80例となっています。

◎幹事報告 川崎潤幹事

●例会変更 中津RC、9月24日(水)、観月例会18:30～ ヴィラルルーチェ、竹田RC 津久見RC





2014～2015年度

中津平成週報 Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2014～2015年度
国際ロータリー・テーマ
ロータリーに輝きを
Light Up Rotary

●週報受理 津久見RC、加古川平成RC、仙台平成RC、中津RC、熊本平成RC

●幹事報告

- ・広島土砂災害義捐金のお願い
- ・ロータリアン誌9月号
- ・ロータリー文庫「資料目録総括ダイジェスト版1998～2013」
- ・中津RC 10月例会プログラム

◎本日のメニュー



◎ニコニコボックス ロータリー財団委員会

〔梶原会長〕 本日は、大河ドラマの中津編の前の非常にタイミングの良いところで松本さんに官兵衛のお話をいただきます。松本さん、本日はよろしくお願ひします。

〔小野会員〕 本日は一ヶ月ぶりの例会参加になります。お盆の間は多忙でしたが、東京の長男一家と過ごすことができました。

〔渡邊会員〕 松本さん、本日はありがとうございます。

〔岡野会員〕 皆さん、ニコニコありがとうございました。

◎ゲスト卓話

豊前国中津黒田武士顕彰会事務局長 松本達雄氏

現在、放映されている大河ドラマの中津での活躍に照らし合わせ、黒田官兵衛の遺した和歌を紹介されました。



黒田官兵衛の和歌の素養は、幼年代に京都出身の母親からの教育によるとのこと。

官兵衛は、求菩提の山伏とも親交があり、中津城築城の際の地鎮祭を依頼したほどです。また、春に求菩提で花見をした時に、遺された和歌の紹介。その詩は、求菩提の資料館に展示されているとのこと。

官兵衛の辞世の句「おもひおく言の葉なくてつひに行く道はまよはじなるにまかせて」よりその人柄と人生観を語られました。石垣原の戦いから、福岡移転の経緯の中で、太宰府と官兵衛とのエピソードの紹介。

その中でも、曲水の宴でも和歌を詠われていたとのこと。官兵衛の生涯を通じて、人生の美学について語られました。

